



## 事業名：人材育成・交流支援事業

# ～製作体験・実演・展示を通じて伝統産業振興や後継者確保につなげる～

事業実施団体：一般財団法人 京都伝統工芸産業支援センター

伝統的工芸品の品目：京都府産地の10品目 ※

(一般財団法人京都伝統工芸産業支援センターは京都の伝統産業各組合の支援のもとに設立された財団法人であり、伝統工芸の後継者育成機関である「京都伝統工芸大学校 (TASK)」と連携を図っています)

※京都府産地の伝統的工芸10品目：京友禅、京仏壇、京仏具、京漆器、京指物、京焼・清水焼、京扇子、京うちわ、京石工芸品、京人形

### 現状・課題

生活様式の変化に伴い、伝統的工芸品に触れる機会が少なくなる中で、伝統工芸の維持発展、産地の活性化のためには若者に関心を持ってもらうことが不可欠です。また、伝統的工芸品の分野を問わず、広く後継者育成へ繋げていくことも重要な課題となっています。



### 補助事業の目的

若者が伝統工芸へ関心を持ってもらうためには、匠の技を持つ職人が実際に作業している現場を見てもらうとともに、自身もその作業を体験してみても、ものづくりの楽しさや技術の素晴らしさを知ってもらうことが重要であることから、「伝統工芸体験会」を開催しました。



### 補助事業の成果

#### ○若者のための伝統工芸体験会

伝統工芸体験会を京都や東京で開催し、毎年400名前後の若者が参加しました。伝統工芸大学校への進学など、さらに本格的に技術習得し、伝統産業の担い手を目指すきっかけになりました。



### 今後の取組

引き続き伝統的工芸品への興味・関心をもつ若者や一般消費者を増やすべく、作品展示やものづくりを体験できる場を提供し、伝統産業振興や後継者確保につなげていきます。

### 連絡先

団体名：一般財団法人 京都伝統工芸産業支援センター

住所：京都府南丹市園部町小山東町二本松 1 - 1

電話番号：0771-63-1751



伝統工芸体験会：木彫刻



伝統工芸体験会：仏像彫刻



伝統工芸体験会：木工芸



伝統工芸体験会：漆工芸



伝統工芸体験会：京手描友禅

### 参加者VOICE

#### 【若者のための伝統工芸体験会】

- ・伝統工芸に初めて触れて関心が高まりました。
- ・実際に体験して、本格的に勉強してみたくまりました。
- ・実際に伝統工芸を制作体験ができ、雰囲気を感じることができた。
- ・色々な伝統工芸を体験してみたいので、今後の東京での伝統工芸体験会にも参加してみたい。
- ・将来、ものづくりの職人になりたいという目標に向け色々な可能性を調べ、伝統工芸の体験をさせていただいた。自分の目指す道を決める参考になった。
- ・伝統工芸体験を通じて色々な話が聞けて将来の参考になった。
- ・伝統工芸体験会に参加して日本の伝統工芸を守ることはとても大切なことであり、若い方が後継者として基礎から学べ匠の技が伝承されていることは素晴らしいと思った。

# 伝統工芸体験会をきっかけに、京都伝統工芸大学校（TASK）で腕を磨き、職人の世界へ ～伝統工芸体験会を経て職人になった方の声～

**希少な技術を学ばせてもらう機会を与えられたら、やらない選択肢はない。  
そしてせっかく学ばせてもらった技術は継承すべき。**



**中川木工芸 比良工房**  
工場長・桶職人 **鈴木 大樹 さん 29歳**  
1991年大阪府の泉州生まれ。2010年にTASKで木工芸とデザインを学ぶ。2014年に色んなご縁があり中川木工芸へ入社。現在は比良工房の工場長として製造管理と後輩スタッフ（同じくTASK卒業生）の技術指導に従事。趣味は美術鑑賞やギャラリー巡り。ストレス解消は睡眠とゲーム。「木」をこよなく愛するインドア男子。



## 複雑な木工技法にヒトメボレ♡

### 体験会に参加したきっかけは？

将来の夢は決まっていなくて、なんとなく「木材」に関する勉強をしてみたいと思っていました。元々大学へ進学しようと思っていましたが、高3の時に担任の先生から木工の技術を深く勉強することができるTASKを紹介されて、伝統工芸体験会に参加しました。「隠し蟻組み(木組が外から見えず、中の構造が複雑な形をしている。)」という木を組む技術などを見せてもらい、とてもカッコイイなと思い、職人を目指し、TASKへの進学を決めました。紹介してくれた恩師に感謝です。



削りは「セン」と呼ばれる片刃を用いる



象眼のラインが入っている本型引き出し



## 進級制作で作った本型の引き出し

### 職人としての原点は？

初めての自主制作である、2年時の進級制作への思い入れは深いです。一から自分でデザインを考えて、先生に相談して「本型の引き出し」を作りました。初めて日本クラフト展へ出展した作品です。TASKでは木工技術だけではなくデザインの勉強もしました。また、木工以外の分野の友達との交流も良い刺激になり、今の作品づくりの基礎となっています。

## 鈴木大樹の代表作をつくってみたい

### 将来の夢は？

木桶の職人は全国でも年々減少しています。せっかく勉強させてもらった技術は継承すべきだと考えています。作品展への出品や他産地の仲間との交流の中で腕を磨いて、将来は木桶の技術を活かした「自分にしかできないものづくり」を極めていきたいと思っています。



鈴木さんと後輩スタッフ(ALLTASK)

### 卒業後の鈴木さんの活躍



第58回日本クラフト展 U35賞



第59回日本クラフト展 奨励賞